

1 糖尿病・腎臓内科

基本研修（2ヵ月）

（1）一般目標

- ①糖尿病の的確な検査・診断ができるようになるため、必要な知識や技術を習得する。
- ②腎臓疾患のなかで発症頻度の高い疾患群について、的確な検査・診断ができるようになるため、必要な知識や技術を習得する。
- ③プライマリ・ケアを中心に、臨床一般に必要な能力を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1)診断力の習得

<糖尿病>

- ①受け持ち患者のプロブレムリストを把握し回診でプレゼンテーションができる。
- ②糖尿病患者主要症候についてアナムネーゼ・身体所見・検査計画・治療方針・パスの使用ができる。
- ③糖尿病教室に参加し他職種の患者支援を理解でき、糖尿病教室で患者指導ができる。
- ④患者さんの病状を理解し、退院サマリーを遅滞無く仕上げるができる。
- ⑤経口糖尿病薬・インスリン製剤の特徴を理解し適切な治療の計画・説明ができる。

<腎臓疾患>

- ①腎臓・尿路系の形態や機能について理解し、説明することができる。
- ②尿検査・腎機能検査について内容を把握し、説明することができる。
- ③浮腫、高血圧、貧血等腎疾患に関わる主要症候について理解し、説明することができる。
- ④腎臓代替療法の方法、適応について理解し、説明することができる。
- ⑤抗核抗体、各種特異抗体、その他自己抗体の病的意義について理解し、説明することができる。
- ⑥関節・皮膚・粘膜症状を的確に観察し、原因疾患との関連について理解し、説明することができる。
- ⑦各々の疾患、重症度に応じた薬剤使用に関して理解し、説明することができる。

<臨床一般>

- ①医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。
- ②患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる。
- ③患者・家族への適切な指示、指導ができる。
- ④全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む）ができ、記載できる。
- ⑤頭頸部の診察（眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔、口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む）ができ、記載できる。
- ⑥胸部の診察（乳房の診察を含む）ができ、記載できる。
- ⑦腹部の診察（直腸診を含む）ができ、記載できる。
- ⑧一般尿検査（尿沈渣顕微鏡検査を含む）の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
- ⑨血算・白血球分画の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
- ⑩血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる・簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）。
- ⑪細菌学的検査・薬剤感受性検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる・検体の採取（痰、尿、血液など）・簡単な細菌学的検査（グラム染色など）。
- ⑫単純X線検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
- ⑬X線CT検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。

⑭頻度の高い症状・病態・疾患について診察し、治療に参加できる。

2) 治療の実践

〈糖尿病・腎臓疾患〉

- ①定められた上限の患者数に達するまで、新規入院患者の担当となり指導医または上級医の指導のもと診療に従事する。
- ②病棟回診（毎週月曜日）に参加し、受け持ちの患者のプレゼンテーションを行い、治療方針を検討する。
- ③腎生検については、すべて加わり検査方法等学ぶ。
- ④他科の糖尿病回診に参加し、急性期入院患者の血糖コントロールについて理解する。
- ⑤入院患者の経過治療方針に関して、看護師、薬剤師とともにカンファレンスを行う。
- ⑥平日朝 8 時 50 分から第 5 会議室で行う糖尿病教室に参加する。

〈臨床一般〉

- ①初診外来研修で医療面接および指導医のもとでの診療治療方針を学ぶ。

選択研修（1 ヶ月以上）

(1) 一般目標

- ①糖尿病・合併症および腎臓疾患について広く全般的に理解し的確な検査、診断、治療ができるようになるため、必要な知識や技術を習得する。

(2) 行動目標と実践 (OJT)

1) 診断力の向上

〈糖尿病〉

- ①受け持ち患者の病態を把握し適切な治療を上級医と相談しながら病棟担当医としてすることができる。
- ②細小血管障害・大血管障害等の合併症の検査・診断・治療を理解し適切なコンサルテーションができる。
- ③他職種との患者支援と協調して糖尿病教室にて講師を務め、行動変容に結びつく患者指導ができる。
- ④患者さんの病状を理解し、過不足無く・遅滞無く退院サマリーを仕上げることができる。
- ⑤経口糖尿病薬・インスリン製剤の特徴を理解し適切な治療を計画し、安全に配慮し実施することができる。

〈腎臓疾患〉

- ①腎臓・尿路系の画像診断が的確に行える。
- ②腎生検を安全に施行することができ、かつ組織診断を的確に行うことができる。
- ③腎疾患に関わる主要症候についての的確に診断し、治療することができる。
- ④腎臓代替療法の適応、合併症について理解し、受け持ち患者に実践することができる。
- ⑤急性血液浄化療法について方法、適応について理解し、受け持ち患者に実践することができる。
- ⑥急性・慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急性・慢性腎不全患者を治療することができる。
- ⑦関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群等代表的な膠原病患者の治療ができる。

2) 治療の実践

〈糖尿病・腎臓疾患〉

- ①病棟回診（毎週月曜日）に参加し、受け持ちの患者のプレゼンテーションを行い、治療方針を立案する。
- ②新規入院患者の担当となり、指導医または上級医とともに診療に従事する。
- ③糖尿病回診に参加し、患者のプレゼンテーションを行いながら患者プロブレムを把握し、治療効果・治療方針を検討する。
- ④他科の糖尿病回診に参加し、急性期入院患者の治療方針を検討する。
- ⑤腎生検に加わり、指導医または上級医とともに施行する。
- ⑥入院患者の経過治療方針に関して、看護師、薬剤師とともにカンファレンスを行う。
- ⑦平日朝 8 時 50 分から第 5 会議室で行う糖尿病教室に参加する。

<臨床一般>

- ①初診外来研修で医療面接および指導医のもとでの診療治療方針を学ぶ。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	糖尿病教育 病棟回診	糖尿病教育 病棟回診	糖尿病教育 病棟回診	糖尿病教育 病棟回診	糖尿病教育 病棟回診
午後	総回診 糖尿病教育 病棟回診	病棟回診 糖尿病教育	病棟回診 糖尿病教育	腎生検 糖尿病教育	腎生検 病棟回診

毎週火曜日午後 5 時からの内科系カンファレンスに参加